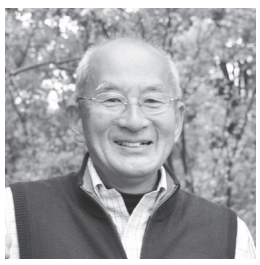
軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper　No.197（毎月10日頃発行）

軽井沢新聞

11月号　November 2019

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

軽井沢人物語



元ソニーデザイナー

天沼 昭彦 さん

全日本マスターズで２冠
「数値化できるのが陸上の魅力」

1967年に入社したソニーで、主にオーディオ機器の製品デザインを担当。会社が海外展開を進めるなか1980年、ソニーデザインセンター・ヨーロッパ（西ドイツ・ケルン市）の立ち上げを任された。欧州各国のデパートや店舗を巡って、嗜好や傾向をリサーチ。どんなデザインが売れるか、東京へ向けレポートした。「念願の海外だったので、首輪を解き放たれたように動き回っていました」

その後、赴任したアメリカでは「マイ・ファースト・ソニー」というコンセプトで、子ども向けのカラフルな電化製品をプロデュース。当時のソニー製品は黒か銀が主流。原色のデザインを見た社長の大賀典雄さんは「ソニーはおもちゃ屋じゃない」と一蹴。その後、会長の盛田昭夫さんを訪ねると「一目見て『面白いね』って。全く性格の違うお二人でした」。

もともと独立志向は強かったが、「ソニーが面白すぎて」気付くと50代に。慕っていた大賀さんが退職するタイミングで自身も独立。デザイン事務所を設立し、東洋大学ライフデザイン学部人間環境デザイン学科の教授も務めた。学生には「マーケティングを知らないと『私の作品』になってしまう。交渉力や説得力も、デザイナーに必要なスキル」などと、これまでの経験を伝えた。

母が疎開していた関係で1944年に軽井沢で生まれ、その後は東京で育った。家族の事情もあり2012年、軽井沢へ移住。佐久平総合技術高校で講師を務めたり、上田市の音響・通信機器メーカーが開発した真空管アンプのデザインを手がけるなど、信州でも縁を広げている。

中学時代に打ち込み、65歳から再開した陸上（短距離）の練習が日課だ。日本トップ選手の練習方法を調べて実践するなど、ソニー時代に培ったリサーチ力をここでも活かしている。今年９月の全日本マスターズ陸上競技選手権（75～79歳クラス）では、60m（８秒87）と100m（14秒15）の２種目で優勝した。

「冬から準備して狙っていたので、嬉しかったですよ。デザインの仕事と違って、結果を数値化できるのが陸上の魅力だと思う」

来年の目標は200mと合わせて３冠。今のタイムをキープし５年後、80～84歳のクラスに出場すれば、日本記録を更新できるとあり「早く年を取りたいんです」と笑顔を見せた。

史上2番目、314・5㎜の雨量を記録
台風19号、家屋全壊や土砂崩れも

10月13日10時、茂沢地区。茂沢川にかかる橋や護岸が崩落していた。

日本の広範囲で甚大な被害を残した大型の台風19号。軽井沢町では10月12日の降水量が、1925年の統計開始以来2番目に多い314・5㎜を記録した。12日正午頃に、住宅の屋根で雨どいを点検しようとした60代男性が、約3m下の地面に転落し腰を打撲する軽傷を負ったほか、人的被害はなかった。

町の総務課防災係によると、家屋被害は31日現在、全壊2件、半壊3件、一部損壊が4件。全壊の2件は別荘で、いずれも土砂崩れが原因。半壊と一部損壊は、地下倉庫への流水、土砂崩れ、倒木などによるもの。浸水は床上、床下ともに報告されていない。

数カ所で土砂崩れが発生した茂沢地区では、家屋や畑まで土砂が流入したところもあった。茂沢川にかかる畑地へつづく橋と護岸が崩落した。13日朝、橋を見に訪れた女性は「これからは別の道を使って、畑に歩いて行かないと」。

停電は最多時、約13000件
全面復旧までに6日間

電線への倒木などによる停電は、12日正午ごろから各所で発生し、13日朝には約13000件に上った。一時は自衛隊も出動して倒木除去にあたり、停電戸数は15日18時に約3000件に減り、17日15時に全面復旧した。

千ヶ滝の小松紀男さんは14日夕方、充電スポットとなった町役場を訪れた。停電の中、カセットコンロで調理していると話し「ロウソクをつけて原始生活。暗い中では食欲も出ない。することもないので7時には寝ています」。

10月14日15時半、千ヶ滝西区。
電線にかかる倒木を処理する電力会社スタッフ。

200人の生徒が学ぶ、千ヶ滝西区の全寮制国際高校「UWCISAKJAPAN」は、停電が5日間続いた。冷蔵庫は使えなかったが、生徒、教職員に必要な食事は確保できたという。同校の広報担当者は「生徒たちの楽観的な姿勢に救われた。電力が戻った時には歓声が上がりました。倒木処理などで、軽井沢町のみなさんに助けて頂き感謝している」。

土砂流入、越水、倒木による道路の通行止めも各所で発生。国道18号バイパスから碓氷軽井沢ICへ向かう数カ所で土砂の流出などがあった影響で、16日13時までICが閉鎖。碓氷軽井沢IC―佐久IC間の通行止めは23日6時に解除された。

案内所に観光客殺到
「どうしたら帰れるの」

公共交通にも大きな被害が出た。北陸新幹線は13日の日中は運休し、夜に上り1本、下り3本の臨時列車を運転。25日から、暫定ダイヤによる東京―金沢間の直通運転を再開している。

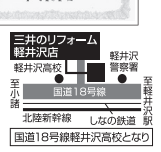
13日、軽井沢駅の観光案内所には、朝から国内外の観光客が押し寄せた。電話も一日に60本以上かかってくるなど、2人のスタッフが対応に追われた。「どうしたら東京へ帰れるか」という問い合わせが多く、高崎駅―横川駅を結ぶ信越本線も止まっていたため、高崎までのタクシー運賃を尋ねてくる人も少なくなかったという。スタッフの一人は「情報収集しながら、皆さんへの対応もしないといけない。ずっと喋りっぱなしの一日でした」と振り返った。

報道による風評などの影響で、直接的な被害のなかった宿泊施設でもキャンセルが相次いだ。13日以降、万平ホテルでは262件、約600人のキャンセルが出た。

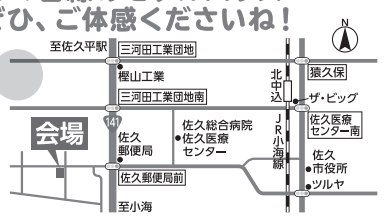
「家のリフォーム」は三井のリフォーム軽井沢店へ
※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。
三井のリフォーム5つのお約束
1.お客様のご要望をすべてお聞きします。
2.資格の無い監督には任せません。
3.追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4.価格以上の満足をご提供します。
5.今まで過ごされた思い出を大切にします。
リビングダイニング　寝室・和室・書斎　洗面・トイレ
キッチン・浴室　外観・エクステリア　水漏れ・雨漏り
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。
軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋20年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ 三井のリフォーム 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00～18:00
悩んでいないで、まずはお電話ください！
見積り無料!!　(0120)278-321
大井建設工業株式会社
○一級建築士事務所佐久川第6058号 ○長野県知事許可(特般-22)第124268号

全国第1位の社長表彰をいただきました。

WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com



女性設計士がママ目線で考えた
家事楽の家
住んでから一番重要なのは住みやすさです。"女性"であり"ママ"であり"主婦"目線で設計した住みやすさ重視のモデルハウスをぜひご覧ください。
モデルハウス見学
随時受付中
ご予約の方にはパンフレットプレゼント!
ママ目線のモデルハウス
ぜひ、ご体感くださいね！
詳しくはコチラ



ご予約はこちら 大井建設ホームページ http://www.kosodate-ouen.com
FREEDIAL 0120-33-4152
メールの方はvip@ooi-kensetsu.co.jp
大井建設工業
子育て世代の安くていい家 専門店 株式会社
■本社／御代田町馬瀬口1670-74